

その他授業での実践（長町中学校）

【防災教育講話】

- 1 題材名 「防災における共助とは」
- 2 日時 平成24年9月14日（金）5校時
- 3 対象 全校生徒，PTA役員，地域団体の職員等
- 3 場所 長町中学校体育館
- 4 ねらい 防災における共助についての理解を深め，10月に行われる防災訓練への動機付けを高める。
- 5 講師 仙台市太白消防署 予防課 予防係長 太田千尋 氏
- 6 内容（講話）
 - 震災当時の状況や昔の地域のコミュニティ等についてパワーポイントで確認しながら，なぜ自助・共助が必要なのかを理解させる。
 - 「クロスロード」を通して，発災後のさまざまな状況でどのような判断をしていかなければならないかを経験させる。



村八分とは…，そして残りの二分が「共助」。

この後，東日本大震災当時に約千人の仙台市の消防士が果たして全てのニーズに応えられたでしょうか…なので公助までの間の共助が必要なのです，という話になります。

阪神淡路大震災の実際にあつたことをもとに作られたゲーム「クロスロード」。イエスは青，ノーは赤のカードを揚げて意思表示します。

「大事に備蓄した3日分の非常食が入った袋を，避難所で開けますか。」判断が分かります。

